

まちづくりプラン賞報告会

第五回勢理客地域を中心とした 防災の地域づくり

—中高生の私達が出来ること—

ティーンズクラブ



自己紹介



活動の趣旨と目的

- 小学校や、訓練重点エリアにある様々な企業や地域住民を巻き込む過程を大切にし、地域づくりの発展につなげることが目的。
- 「防災避難訓練」の取り組みが、防災意識の高まりを目指し自主防災組織結成へと動き始める機会づくり。



活動の概要

- ・ 地域の中高生が主体となり、勢理客自治会、神森小学校（学校の授業として）、安謝川沿い保育園、地域の企業が参加する防災避難訓練を11月2日に実施をする。



活動の成果 (本番)

11月2日(金) 避難訓練当日

勢理客自治会、地域住民、近隣企業、神森小学校
(5、6時限の授業) と防災訓練を行いました。





本番までの取り組み

- 『地震のメカニズム(断層)を学ぼう。』
- 日時：9月23日(日)10時～13時
- 講師：防災士 稲垣暁 氏
- 場所：伊祖断層



- 『避難所HUG(ハグ)』 を学んで避難所運営について考えよう！

日時：平成30年10月20日（土）10時～12時

講師：琉球大学理学部物質地球科学科

教授 松本剛 氏



● 運営会議

10月1日(月)18時～20時

地域 企業 学校合同運営会議①

10月22日(月)18時～20時

地域 企業 学校合同運営会議②



● チラシ作成と地域への案内

10月 チラシ作成

地域関係者への声掛け、新聞にチラシ折込みをして、各世帯に配布！

平成30年度 勢理客防災学習



『避難所 HUG (ハグ)』を学んで避難所運営について考えよう！

日時：平成30年10月20日(土) 午前10時~12時
講師：琉球大学理学部物質地球科学科 教授 松本剛 氏
場所：浦添市立森の子児童センター
参加費：特になし
お問い合わせ先：098-874-7610 (森の子児童センター)



避難所 HUG は、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。(http://hit.ly/2070h より引用)

勢理客地域防災訓練 IN 神森小学校
併せて講演会も開催いたします。
地域の皆さま、ぜひご参加ください。



防災訓練日時：平成30年11月2日(金)13時45分~15時30分まで
場所：浦添市立神森小学校

講演会タイトル：「震災から学んだ日頃の備え」
講師：宮城県柴田町立柴田小学校 校長の坂本忠厚氏
お問い合わせ先：098-874-7610 (森の子児童センター)



参加者の声

- ・ 去年に比べて参加者が減った。
- ・ 防災無線の音が聞こえづらい。
- ・ 体育館に車いすの準備をしていなかった。
- ・ 避難所ハグはゲームであっても、混乱することが体験できた。
- ・ 学校の備蓄庫には、アルファーマ、段ボール保管方法はあるが、アルファーマは無かった。また倉庫の掃除なども定期的に行う必要があると感じる。



収支精算書

様式第7号(第6条関係)

収 支 精 算 書

収入の部

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減	説 明
助成金	100,000円	100,000円	0円	
受賞者負担額	573円	4,648円	△4,075円	
計	100,573円	104,648円	4,075円	

支出の部

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減	説 明
備品購入費	0円	9,800円	△9,800円	
消耗品費	29,149円	24,488円	4,661円	文具・用紙他
報償費	50,000円	40,000円	10,000円	10,000×5回
旅費	6,760円	9,960円	△3,200円	タクシー
印刷製本費	5,240円	12,400円	△7,160円	チラシ印刷 他
保険料	0円	8,000円	△8,000円	
通信運搬費	9,424円	0円	9,424円	切手他
受賞者負担	0円	0円		
計	100,573円	104,648円	4,075円	



最後に・・・

ありがとうございました。

にふい〜
でびる

Thank You!

